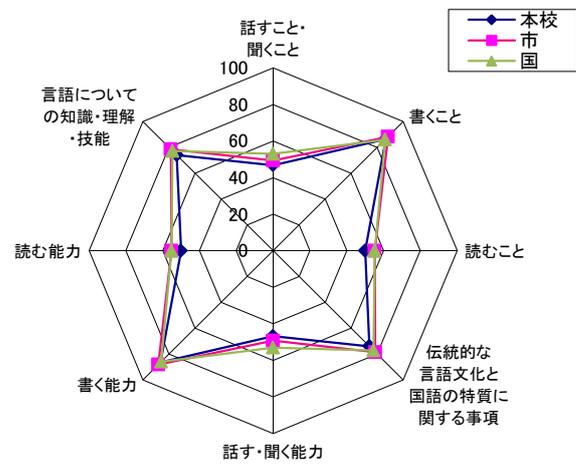


宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

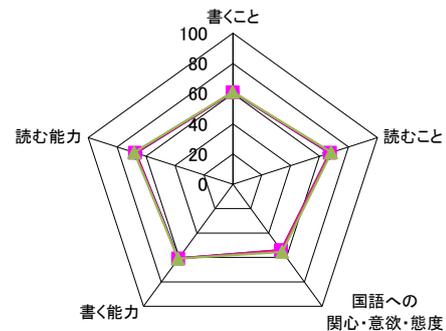
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	46.8	49.3	53.0
	書くこと	86.5	88.2	86.0
	読むこと	50.0	55.2	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.0	78.5	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	46.8	49.3	53.0
	書く能力	86.5	88.2	86.0
	読む能力	50.0	55.2	55.2
	言語についての知識・理解・技能	74.0	78.5	77.2



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	60.8	60.9	61.1
	読むこと	67.0	67.4	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	54.3	54.0	55.4
	話す・聞く能力			
	書く能力	60.8	60.9	61.1
	読む能力	67.0	67.4	68.1
	言語についての知識・理解・技能			



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的回答は5.6ポイント、「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的回答は13.6ポイント、「読書は好きですか」に対する肯定的回答は7.4ポイント、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか」に対する肯定的回答は20.0ポイント、全国平均を上回っている。児童が国語の学習を好み、大切さを理解して真面目に取り組んでいる様子が見られる。

●「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」に対する肯定的回答は2.6ポイント、「段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」に対する肯定的回答は3.4ポイント、全国平均を下回っている。自分の意見を自信をもって表現できる授業を考えていきたい。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●A: 話の内容に対する聞き方を工夫する問題の正答率は、全国平均よりも6.2ポイント低い。	・聞くことの学習の機会を増やして、ポイントをつかんで話を聞けるよう指導していく。
書くこと	○B: 「目的や意図に応じ新聞の割り付けをする」問題の正答率は、全国平均よりもそれぞれ2.9ポイント高い。 ●B: 「取材した内容を整理しながら記事を書く」問題の正答率は、全国平均よりも5.0ポイント低い。	・伝えたいことの中心を明確にした上で、自分で調べた内容や関係者に取材した事柄の中から取捨選択し、伝えたいことが読み手に伝わるように整理して記事を書くことが大切であることを指導していく。
読むこと	●A: 「新聞のコラムを読んで表現の工夫を捉える」問題の正答率は、全国平均よりも7.3ポイント低い。 ●B: 「目的に応じ文章と図を関係付けて読む」問題の正答率は、全国平均よりも6.1ポイント低い。	・自分の考えを補説して相手を説得したり、具体例を挙げて読み手を納得させたりするなど、表現の仕方を指導していく。文章を引用する場合は出典を明示することも指導する。 ・様々な文章を読み、筆者がどのような事実を理由として挙げ、どのような考えを述べようとしているのかを捉えていくことが大切であることを指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○A: 漢字の正答率は、「承知」を読ませる問題は5.7ポイント、「病院」を書かせる問題は3.5ポイント、全国平均よりも高い。 ●A: 「文中における主語と述語の関係をつかむ」問題の正答率は、全国平均よりも5.9ポイント低い。	・学習した漢字を読み書きする機会を可能な限り増やすとともに、常に辞書を利用して調べる習慣を身に付けさせる。 ・文や文章を読み取ったり表現したりするときに、主語と述語の照応関係の大切さを強く意識させるようにする。